



Info アジアの経済状況

JETRO・アジア経済研究所が公表した 韓国と台湾の総合研究「企業と産業」の資料入手先をお知らせ致します。興味のおありの向きは、適宜、アクセスください。

韓国主要産業の競争力

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/2006_04_12.html

はしがき・目次 (160KB)

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_00.pdf

第1章 韓国自動車産業の発展パターンと競争力構造 (316KB)・・・金 奉吉

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_01.pdf

第1節 韓国自動車産業の発展パターン

第2節 韓国自動車産業の競争力構造

第2章 韓国半導体産業の競争力

-DRAM 事業の変化とサムスン電子の優位 - (624KB)・・・吉岡 英美

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_02.pdf

第1節 半導体市場におけるサムスン電子の競争力

第2節 DRAM の開発競争の新展開

第3節 次世代DRAM アーキテクチャをめぐる競争とサムスン電子の優位

第4節 DDR アーキテクチャの普及をめぐる競争と協調

第3章 貿易関係より見る韓国機械産業の競争力

- 対日・対中を中心として -

(745KB)・・・服部 民夫

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_03.pdf

第1節 「組立型工業化論」再論

第2節 日韓中の工業品貿易の展開

第3節 日韓、韓中の機械類貿易

第4節 自給度の変化

付論 韓国企業の中進出

第4章 韓国鉄鋼業の発展と競争力 (427KB) . . . 安倍 誠

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_04.pdf

第1節 韓国鉄鋼業の発展過程

第2節 韓国鉄鋼業の需給・貿易構造

第3節 韓国鉄鋼業の競争力と新たな展開 日本との競争と協調

第5章 構造改革以降における韓国金融産業の変化

- 一般銀行を中心に - (350KB) . . . 高安 雄一

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_05.pdf

第1節 金融構造改革前後における銀行の変化

第2節 金融構造改革前後における銀行の体質変化

第6章 韓国の価格競争力と技術競争力

産業競争力の類型別要因分解 (550KB) . . . 奥田 聡

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_06.pdf

第1節 韓国経済における輸出の重要性

第2節 産業競争力の類型化 輸出入単価と輸出入差額を用いて

第3節 韓国主要産業の競争力

第4節 先進国と途上国による挟撃

第5節 まとめと結論

補論 輸出入単価の計算について - 詳細品目の商品交易条件の活用

第7章 産業競争力強化に向けた政府支援策の展開と現状 (659KB) . . . 渡辺 雄一

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_12_07.pdf

第1節 産業政策と技術政策の展開

第2節 近年の技術開発支援策

おわりに - 実証分析に向けて

台湾総合研究 - 企業と産業

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/2006_04_34.html

目次・執筆者一覧・まえがき (245KB)

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_maegaki.pdf

第1章 台湾における公営事業民営化に関する研究 (333KB)・・・北波道子

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_01.pdf

第2章 台湾 TET-LCD 産業の今日的発展メカニズム

キャッチアップ型工業化の過程を越えて (476KB)・・・赤羽淳

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_02.pdf

第3章 分業システムと中小企業 先行研究の批判的検討 (283KB)・・・佐藤幸人

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_03.pdf

第4章 台湾の家族所有型企业グループの事業展開 (487KB)・・・川上桃子

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_04.pdf

第5章 台湾における物流産業 センサデータを手がかりに (288KB)

・・・池上 寛

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_05.pdf

第6章 台湾の対外直接投資と「産業空洞化」問題

- 先行研究のレビューと研究課題の所在 - (547KB)・・・伊藤信悟

http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Report/pdf/2006_04_34_06.pdf

—— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。

宜しくお願い致します。

第 26 回産学懇話会のお知らせ

日時： 2007.7.7(土) 12:30-14:45

場所： 京大機械教室 216 室

今回より産学懇話会の世話役が久保愛三から松久寛に代わりました。

今回の話題は先日の関東支部での社会連携セミナーと同内容です。評判が良かったので、関西でも話していただくことになりました。

ご参加いただける方は、下記フォームにご登録下さい。

<http://www.hi-ho.ne.jp/cgi-bin/user/dai2seiki/index.cgi?D90>

また、ご質問等ございましたら、京機会事務局(keikikai@bz3.hi-ho.ne.jp)へご連絡下さい。

話題

1. 12:30-13:30

「技能継承におけるアナログとデジタル：徒弟制度かコンピュータ化か」

京都大学大学院情報学研究科 システム科学専攻 助手 塩瀬 隆之 氏
(京都大学 国際融合創造スーパー連携室 国内連携担当コーディネータ併任)

ものづくり技能の継承不安がさげられる 2007 年をついにむかえた。創造的な熟練者の技を次代の技術者に伝え、組織資産とすることが企業の競争力に直結することは疑いない。拙速に自動化システムを導入するも現場の職人には迎え入れられず、OJT の名の下に若手を現場に放り込んでもうまくいかない。伝統技能からものづくり技能まで、分野を問わず「技の伝え方」に注目した研究内容について紹介する。

2. 13:45-14:45

「不便益 - 不便の効用に着目したシステム論に向けて - 」

京都大学大学院情報学研究科 システム科学専攻 助教授 川上 浩司 氏

不便益という用語は一般には「不の便益」と読まれるが、ここでは「不便の益 (profit of inconvenience)」という意味で使う。便利な道具を開発することは良いことであると無条件に受け入れていたが、その反例は実は我々の周りに溢れており、意識していないだけであることに気づいた。より積極的に「不便で良かった」と思うことさえある。現在はその調査結果を整理している段階であるが、これの数理モデルをたててシステム設計論に展開する試みを紹介する。

アイアンブリッジ溪谷博物館 The Ironbridge Gorge Museums

吉田 英生 (航空宇宙工学専攻)

yoshida@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp

1. Coalbrookdale 地方：産業革命のゆりかご

産業革命は、製鉄の生産性向上や蒸気機関による動力の効率化などを重要な柱として18世紀に英国で進展した。まず、製鉄の方は、Abraham Darby I (1678 - 1717) が今からほぼ300年前の1709年に、コークスを用いた blast furnace (高炉) を、Severn 川に沿う Coalbrookdale 地方に導入したことによって大きな技術革新がなされた。一方、蒸気機関は、これに約半世紀遅れて1765年に James Watt (1736~1819) が "separate condenser" を発明したことによって熱効率が大きく飛躍した。

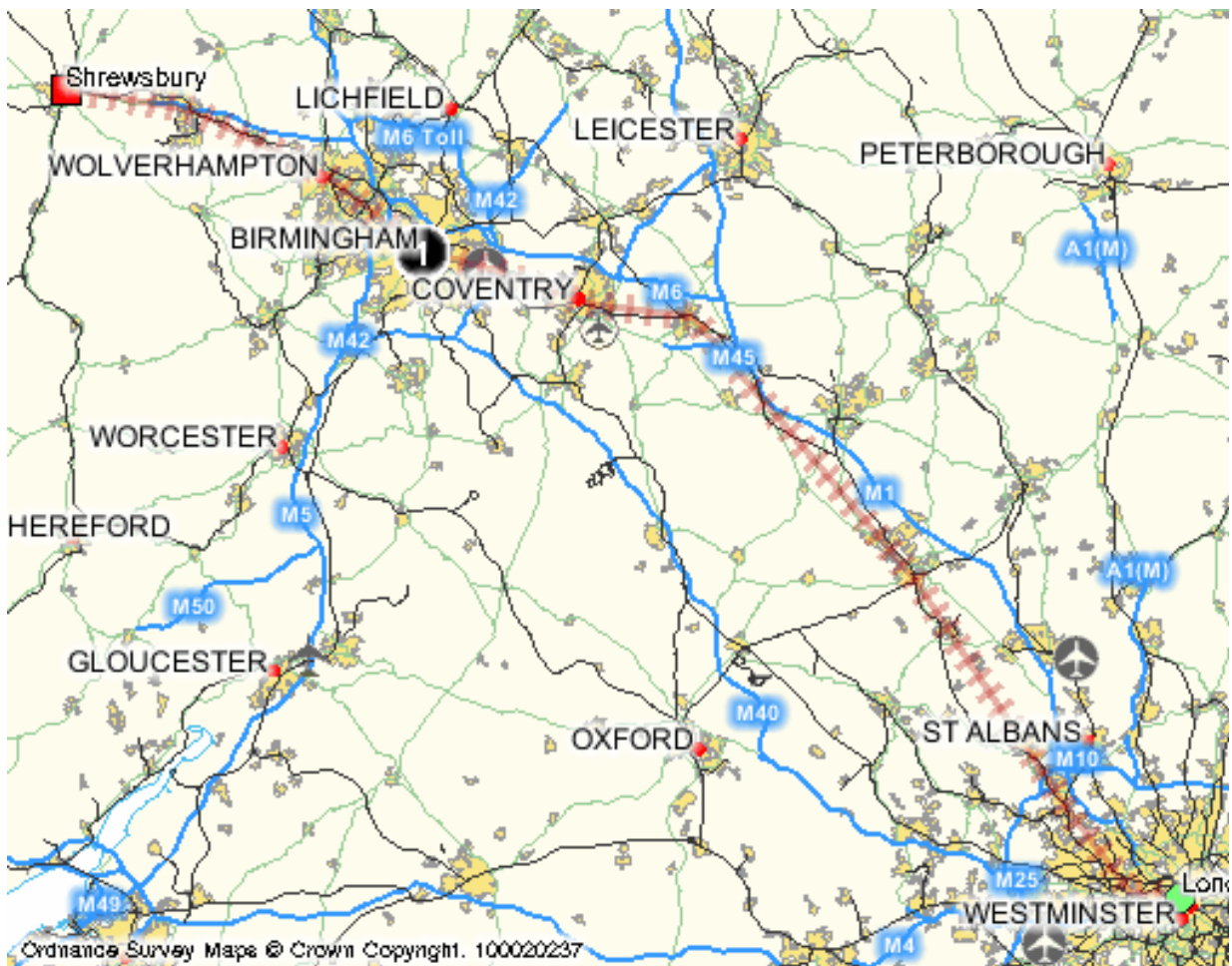


図1 London から Shrewsbury 方面への鉄道路線

<http://www.transportdirect.info/TransportDirect/en/JourneyPlanning/>

Darby 家では ,
Abraham Darby I の息
子 Abraham Darby II
(1711-1763) , さらに孫
Abraham Darby III
(1750-1789) が , この
地を製鉄の拠点に育て
上げた . "The Severn
was the second busi-
est river in Europe."
と言われ , また
Coalbrookdale 地方は
"The Cradle of the



図2 Euston 駅からの高速列車

Industrial Revolution" と呼ばれてきた . この渓谷は世界で最初の鉄橋が建設されたため Ironbridge Gorge と呼ばれる . 当時の建物を利用した The Iron bridge Gorge Museums (<http://www.ironbridge.org.uk/> , <http://www.ironbridgeguide.info/>) も擁するこの地域は UNESCO の World Heritage Site (<http://whc.unesco.org/en/list/371>) でもある .

筆者にとっては , この地を訪問したいといつかねてからの念願が , 2006 年 6 月 22 日にようやく実現した . 一般の旅行ガイドブックでは関連する記述が極めて限られているようなので , これから当地を尋ねられる方の便も考慮して , ガイドブック的な情報も含めてご紹介させていただく .



図3 Telford Central 駅と Birmingham 行き列車

2. Ironbridge 溪谷への道

図 1 に示すように London の Euston 駅から西北に向けて高速列車 (図 2) に乗ると約 1 時間 30 分で Birmingham New Street 駅に着く . ここで Shrewsbury 方面の路線に乗り換え , 速い列車だと約 30 分で Telford Central 駅に至る (図 3) . Telford Central 駅構内には , 図 4 のような Richard Trevithick の蒸気機関車が展示してあり , 早くも産業革命の雰囲気を感じさせる .

駅前から , タクシーなら £7.60 で 20 分程度 , バスなら , まずは Telford Centre Bus Station まで £0.60 で 5 分程度 , ここで Ironbridge 方面 (76 番 , 77 番 , 99 番など) に乗り換えて £1.40 で 30 分程度で Ironbridge 溪谷に着く . なお Shrewsbury 駅からのアクセスも可能であるが , London 方面から来た場合は鉄道が西側に一旦 15km 以上行き過ぎた分をバスで引き返すことになるので , Telford Central で下車するのがよい . そのことに気付く以前に筆者が購入した London - Shrewsbury (250km 程度) の往復切符は £134 (29,000 円程度) と高い . 旅行前に日本国内で例えば Britrail England Pass (4 日間) が 28,500 円で入手できるのでお薦めする (http://www.arukikata.com/europe/rail/rail_index.html) .

(つづく)

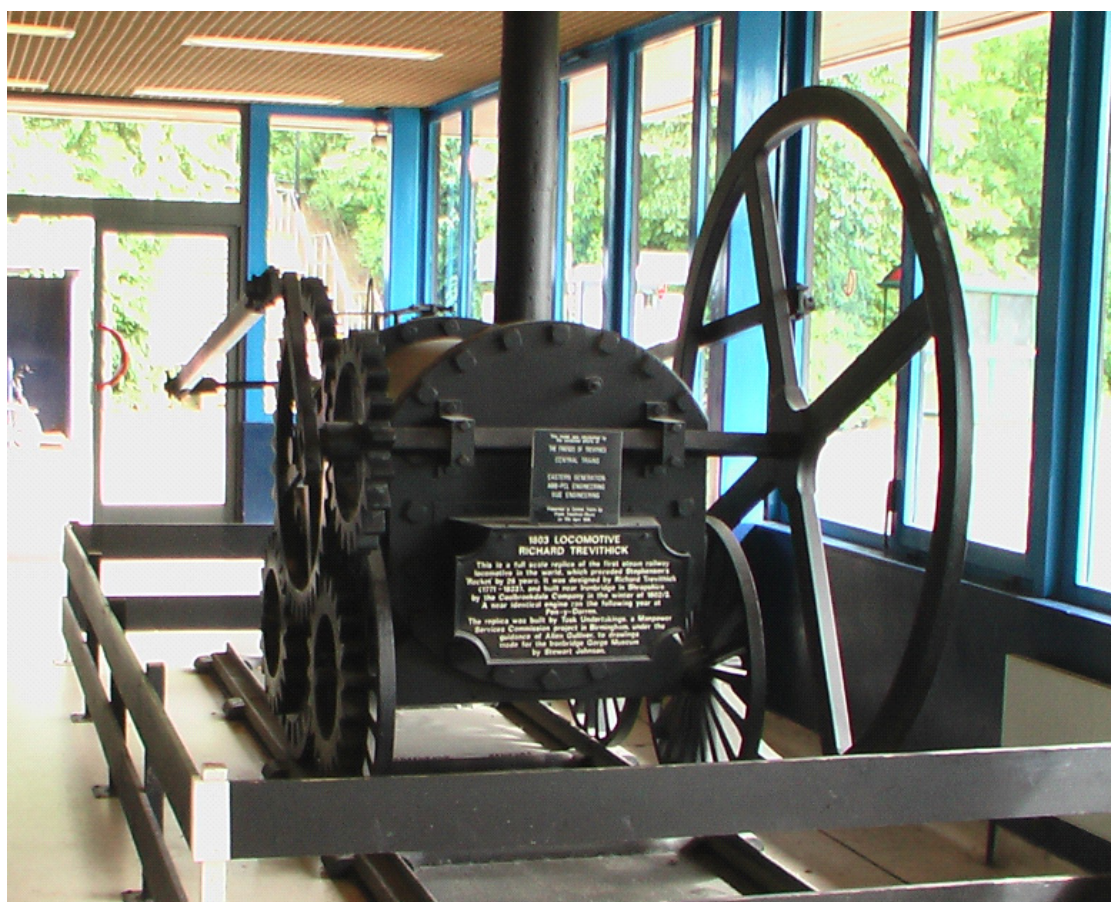


図 4 Telford Central 駅に展示されている Richard Trevithick の蒸気機関車 (1803)

京

8世紀末、平安京の正門にあたる羅城門の東西に「東寺」と「西寺」（さいじ）という2つの寺院の建立が計画された。これら2つの寺院は、それぞれ平安京の左京と右京を守る王城鎮護の寺、さらには東国と西国とを守る国家鎮護の寺という意味合いを持った官立寺院であった。このうち東寺は後に弘法大師空海に下賜され、真言密教の根本道場として栄えた。中世以降の東寺は弘法大師に対する信仰の高まりとともに「お大師様の寺」として庶民の信仰を集めるようになり、21世紀の今日も京都の代表的な名所として存続している。何度かの火災を経て、東寺には創建当時の建物は残っていないが、南大門、金堂、講堂、食堂（じきどう）が南から北へ一直線に整然と並ぶ伽藍配置や、各建物の規模は平安時代のままである。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E5%AF%BA>

正式名： 金光明四天王教王護国寺日秘密伝法院

世界遺産

山号： 八幡山

宗派： 東寺真言宗総本山

本尊： 薬師如来（重要文化財）

創建年： 延暦15年（796年）

開基： 官立（桓武天皇）

宗教法人公称： 教王護国寺

別称： 左大寺



東寺

札所等： 真言宗十八本山9番、西国愛染十七霊場8番、洛陽三十三所観音霊場第23番

文化財： 金堂、五重塔、大師堂ほか（国宝）、講堂、木造薬師如来及両脇侍像ほか（重要文化財）

学生フォーミュラプロジェクト KART 5 月期活動報告

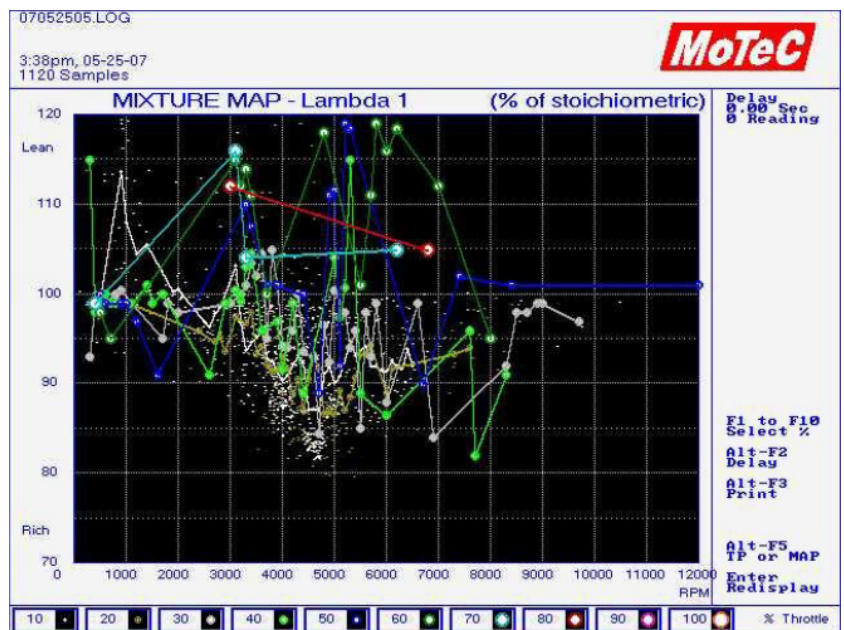
製作

製作に関しては、やはり現物を作ってからしか分からないことが多いため、5月はとにかくまず製作することを優先しました。その結果、設計での問題点を洗い出すことができ、比較的スムーズにパーツ製作を進めることに成功いたしました。ただ、やはり製作時間や製作ミスなどの不確実な要因が重なったことで、当初の5月末のシャイクダウンには間に合わず、現在シェイクダウンの日取りを再検討中です。シェイクダウンを心待ちにしておられるスポンサー様、およびサポーター様には大変申し訳ございませんが、もう少しお待ちいただければ幸いです。



エンジンセッティング

5月を通して、今年度から導入いたしましたフルコンのセッティングを行いました。エンジンセッティングには昨年度車両を使用し、工場の中でまずは模擬的にエンジンの火入れを行い、今月25日には実際にフルコンを用いた試験走行を行いました。幸い、車両は昨年度と変わら



走行中の空燃比データ



ぬ走行を実現し、今後セッティングを煮詰めることにより、昨年度以上のエンジンを実現する片鱗を見せてくれました。次はいよいよ今年度車両への搭載となりますが、よりよいエンジンセッティングを目指し、緻密に制御していきたいと思っております。

文責：堀内 亮